

平成 25 年 7 月 2 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ  
株式会社三菱東京 UFJ 銀行

## タイ大手商業銀行アユタヤ銀行の株式取得について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（取締役社長 <sup>ひらの のぶゆき</sup> 平野 信行、以下 MUFG）の子会社である株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 <sup>ひらの のぶゆき</sup> 平野 信行）は、GE Capital International Holdings Corporation（以下 GE キャピタル）と、GE キャピタルが保有する Bank of Ayudhya Public Company Limited（以下アユタヤ銀行）の株式に関する株式応募契約（以下本契約）を 2013 年 7 月 2 日付で締結いたしました。今後、関係当局の承認、アユタヤ銀行の株主総会決議の取得、その他の諸条件が充足されることを条件として、アユタヤ銀行の株式の過半数以上の取得を目指し、1 株あたり 39 タイバーツで株式公開買付（Voluntary Tender Offer－VTO）（以下本株式公開買付）を実施いたします。

GE キャピタルは、本契約に従い、保有する全てのアユタヤ銀行株式 1,538,365 千株（発行済株式総数の約 25.33%）につき、本株式公開買付に応じます。本株式公開買付の完了をもって、三菱東京 UFJ 銀行は GE キャピタルに代わりアユタヤ銀行の大株主となり、既存大株主である Ratanarak Group（ラタナラック家を中心とする株主グループ。以下ラタナラックグループ）とともに、アユタヤ銀行の更なる発展を主導してまいります。

三菱東京 UFJ 銀行およびアユタヤ銀行は、広範な戦略的協業関係の構築に向けて協議を進めるとともに、タイ中央銀行による規制（One Presence Policy）に従い、本株式公開買付後の三菱東京 UFJ 銀行バンコック支店とアユタヤ銀行の統合について検討を行ってまいります。両行による合意を経て、本株式公開買付後にバンコック支店とアユタヤ銀行の統合が実施される見込みです。

### 1. 本件の目的

三菱東京 UFJ 銀行はアジアにおける更なる事業展開の一環として、総合的な商業銀行プラットフォームの構築を目指してまいりました。アユタヤ銀行への出資を通じ、三菱東京 UFJ 銀行およびアユタヤ銀行両行の強みを最大限活用することで、現地の個人のお客さまからグローバルに展開される法人のお客さまに至るまで幅広い層のお客さまに対し、総合的な金融サービスの提供が可能になると考えております。

タイ経済はこれまで安定的な高成長を実現してきましたが、今後もグレーターメコン経済圏において中心的な役割を担うなど、更なる成長が見込まれています。また、タイと日本とは様々なレベルで歴史的に深い結び付きを有しており、多くの日本企業がタイにおいて事業を展開していることも周知の通りです。

アユタヤ銀行は、タイにおいて幅広い顧客基盤を有し、タイの金融市場に関する豊富な知見に基づき、多様な金融サービスの提供を展開する代表的商業銀行のひとつです。

三菱東京 UFJ 銀行はタイにおいて、バンコック支店の開設以来 50 年以上に亘り、主に法人のお客さまの支援に従事してまいりました。本件投資を通じて、三菱東京 UFJ 銀行はタイにおける金融サービスの更なる強化を行い、現地で活躍されるお客さまの多様なニーズにお応えすることを通じて、タイの経済発展に貢献してまいります。

## 2. 本件の概要

(1) 本株式公開買付の実施者

三菱東京 UFJ 銀行

(2) 本株式公開買付の対象者

アユタヤ銀行

(3) 株式公開買付価格

一株あたり 39 タイバーツ

(4) 本株式公開買付の実施予定期間

2013 年 11 月上旬から開始し、2013 年 12 月に終了する予定です。

(5) 三菱東京 UFJ 銀行の買付予定株式数

アユタヤ銀行の発行済株式総数の約 25%を保有するラタナラックグループが、本株式公開買付には応募しないことを前提として、三菱東京 UFJ 銀行の買付予定数は最大で発行済株式総数の約 75%になる見込みです。なお、買付予定数の下限および上限は設定しない予定です。

(6) 本公開買付による三菱東京 UFJ 銀行の所有株式数の異動割合

本公開買付前の三菱東京 UFJ 銀行の株式所有割合：0%

本公開買付後の三菱東京 UFJ 銀行の株式所有割合：約 75%（ラタナラックグループを除く全ての株主が本株式公開買付に応募した場合）

(7) 買付に要する資金（ラタナラックグループを除く全ての株主が本株式公開買付に応募した場合）

約 5,600 億円（1 タイバーツあたり 3.16 円で換算）

(8) 本株式公開買付は、以下の関係当局による許認可およびアユタヤ銀行の株主総会決議を取得すること並びにその他の諸条件が充足された後に、実施されます。

- アユタヤ銀行に関する外資保有持分規制の上限を超える株式の取得に対する、タイ中央銀行およびタイ財務省の認可・免除およびその他関係認可
- 三菱東京 UFJ 銀行がアユタヤ銀行を子会社とすることについての本邦金融庁による認可
- 外国法人事業免許に関するタイ商務省の認可
- その他必要となる関係当局の認可・免除
- 本件に関する定款変更に関するアユタヤ銀行の株主総会決議

本株式公開買付開始の前提条件となるものではありませんが、三菱東京 UFJ 銀行は、本株式公開買付の開始に先立ち、タイ中央銀行による規制（One Presence Policy）に従った三菱東京 UFJ 銀行バンコック支店とアユタヤ銀行の統合に関する以下のものを含む、その他の関係当局の許認可およびアユタヤ銀行の株主総会決議を取得する予定です。

- 三菱東京 UFJ 銀行バンコック支店とアユタヤ銀行の統合が実施される場合に必要となりうる、第三者割当増資に関するアユタヤ銀行の株主総会決議の有効期間制限および強制的公開買付に関するタイ証券取引委員会または公開買付審査会による免除
- 三菱東京 UFJ 銀行バンコック支店とアユタヤ銀行の統合に関する契約締結およびその他の関係事項に関するアユタヤ銀行の株主総会決議

### 3. 本件の戦略的意義

三菱東京 UFJ 銀行はアユタヤ銀行への出資を通じ、以下の効果実現を目指してまいります。

- (1) タイにおいて総合的な商業銀行プラットフォームを構築し、包括的な金融サービスの提供を通じて様々なお客さまのニーズに応えることが出来る体制を整備します。
- (2) 従来より注力してまいりましたコーポレート・バンキング業務のみならず、リテール業務および中小企業取引にも事業領域を拡大することにより、アジアにおける成長戦略を加速化します。
- (3) アユタヤ銀行のローカルネットワークと三菱東京 UFJ 銀行のグローバルネットワークを有機的かつ最大限に活用することで、幅広いお客さまに対し高付加価値の金融サービスを提供します。
- (4) アユタヤ銀行が有するプラットフォームを活用することにより、2015 年に予定される ASEAN 経済共同体発足などを起点として高い成長性が見込まれる、グレートメコン経済圏での事業展開を進めます。

### 4. アユタヤ銀行の概要

アユタヤ銀行はタイにおいて 68 年の歴史を有し、5 番目の資産規模を誇る商業銀行です。タイ全国における 601 の支店および 1 万 9,000 を超える拠点を通じて、個人のお客さまから中小・大企業のお客さまに対して、法人金融、消費者金融、投資、資産運用等の包括的な金融サービスを展開しています。また、アユタヤ銀行は、子会社を通じ、620 万口座を有するタイ国内最大のクレジットカード発行体であり、その傘下には自動車ローン大手の Krungsri Auto、近年急成長を遂げている資産運用会社 Krungsri Asset Management およびマイクロファイナンスを営む CFG Services を有しています。

- |  |  |
|--|--|
| (1) 商号:  | Bank of Ayudhya Public Company Limited             |
| (2) 事業内容:  | 商業銀行   |
| (3) 設立:  | 1945 年   |
| (4) 所在地:   | タイ王国、バンコック   |
| (5) 代表者の氏名・役職:   | Mrs. Janice Van Ekeren, CEO                        |
| (6) 資本金:   | 60,741 百万タイバーツ (2012 年 12 月 31 日現在)                |
| (7) 大株主および持分比率 (発行済株式総数に対する持分比率) (2012 年 12 月 31 日現在): | GE キャピタル 25.33% (1,538,365 千株)<br>ラタナラックグループ 約 25% |

(8) 発行済株式総数: 6,074,143,747 株 (2012 年 12 月 31 日現在)

(9) MUFG および三菱東京 UFJ 銀行との関係:

MUFG および三菱東京 UFJ 銀行とアユタヤ銀行の間には開示を必要とする一切の資本関係、人的関係、取引関係はございません。

(10) 決算期: 12 月末

(11) 従業員数: 18,515 名 (2013 年 3 月 31 日現在)

(12) 最近事業年度における業績の動向: (単位: 百万タイバーツ)

事業年度	2010	2011	2012
株主資本	99,104	102,696	113,486
総資産	869,834	947,797	1,071,966
粗利益	51,527	55,305	61,189
営業利益	24,731	27,828	30,391
少数株主持分除く純利益	8,793	9,264	14,625
EPS (THB)	1.45	1.53	2.41
BPS (THB)	16.3	16.9	18.7

## 5. 業績への影響

アユタヤ銀行に対する本件投資による、2014 年 3 月期 MUFG および三菱東京 UFJ 銀行の業績への具体的な影響額については、必要に応じて適切な時期に公表いたします。なお、MUFG の 2013 年 3 月期の連結当期純利益 (8,526 億円) と、アユタヤ銀行の 2012 年 12 月期の連結当期純利益 (146 億タイバーツ) を単純合算した値に占めるアユタヤ銀行の業績割合は、約 5.2% です。

(注) 1 タイバーツあたり 3.16 円で換算

以 上

(照会先)

三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 広報部 03-3240-7651

三菱東京 UFJ 銀行 広報部 03-3240-2950